歴史・文化財

悠久の時を語り継ぎ受け継ぐ文化財

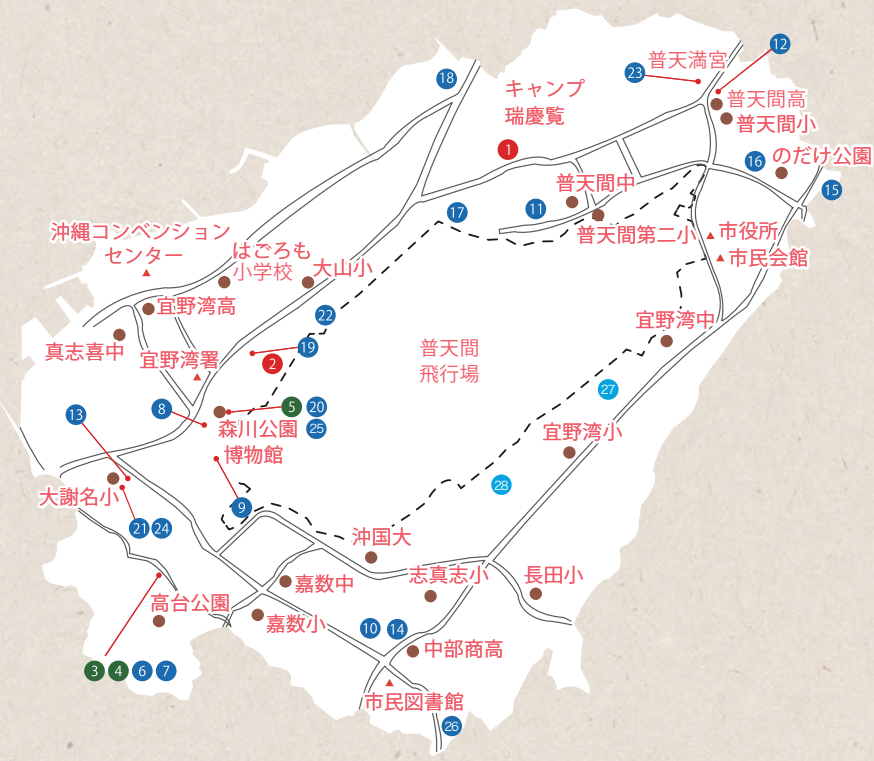
文化財は、永く私たち市民の祖先が生成発展させ、守り伝えてきた誇り高い市民環境の一つであり、地域の歴史と文化を知る大切な市民共有の財産です。さらに、去る沖縄戦において、多くの人命と共に数多くの歴史的・文化的財産を失った私たちにとって、先人たちの知恵・工夫を後世の人々に伝える生きた教材でもある現存する文化財の価値は計り知れません。

国指定文化財

国指定有形文化財

❶ 喜友名泉

西普天間住宅地区にある喜友名泉は石造で整備されたウフガー、カーグァーと呼ばれる二つの湧水を合せた名称です。喜友名集落の生活用水として利用され続けて国指定有形文化財 [建造物]として指定されました。



国指定史跡

❷ 大山貝塚

大山貝塚（おおやまかいづか）は、宜野湾市大山冨盛原にある貝塚。1958年（昭和33年）の発掘調査で、土器・かんざし・骨針などが発見されました。中でも土器は「大山式土器」として沖縄の標準土器となりました。